

Press Release

サンケイリビング新聞社
2007 年 5 月 28 日

～全国初 行政と民間企業の協働編集フリーマガジン～

大人世代向け 横浜情報マガジン 『ハマジン』創刊2号

2007 年 5 月 31 日(木)から配布

横浜市とサンケイリビング新聞社とが協働編集する、日本初の官民協働フリーマガジン『ハマジン』。創刊 2 号の配布を、5 月 31 日(木)から横浜市内の駅などで開始します。

『ハマジン』は本年 2 月 28 日に創刊した新スタイルの広報誌。地元の市政情報との接点が薄い 40～50 代の男性を中心に、横浜市民として必要な“公共情報”と“大人の横浜 OFF 情報”を、「大人の男として」「横浜人として」横浜ライフを楽しむのに役立つ情報として発信しています。

『ハマジン』2号の特集は、横浜市内に点在する“外国”を感じるスポットを紹介する「横浜エキゾチカ」と、2009 年に向けて動き出した開港 150 周年を紹介する企画。そのほか横浜観光コンベンションビューロー理事長の石坂浩二さんのインタビューや、新しい税制をわかりやすく解説する「税金 Q&A」など、役立つ・面白い横浜情報が満載です。



<創刊 2 号の表紙>

[創刊2号 コンテンツ ダイジェスト]

- ・Yokohama vision
石坂 浩二 さん インタビュー
- ・スポーツインタビュー
高野 進 さん
- ・特集
横浜エキゾチカ
- ・特集
横浜開港150周年特集
- ・税制 Q&A
住民税と所得税はどう変わった？
- ・オンナ心ランキング
夫婦でほろ酔い、どこに行く？

Press Release

『ハマジン』の誌名はYOKOHAMA MAGAZINEの略。また、多忙で今は地域にあまり目が向いていない人も含め、横浜に住む大人を対象とする情報誌というコンセプトも表現しています。

『ハマジン』の媒体特性

そろそろ還るか、横浜に

『ハマジン』のコンセプトをひと言で表すキャッチフレーズが「そろそろ還るか、横浜に」。
いよいよ始まる団塊の世代の定年退職は、これまでビジネスシーンを生活のメインステージにしてきた多くの人が、地域へ、家庭へと目を向け、軸足を動かす契機になるはずです。

『ハマジン』は、横浜市に住みながら、地元の情報を目にしづらい、関心を持ちにくい多忙な大人層に向け、横浜をもっと知ってもらうこと、気持ちの根を地域に張ってもらうことを目指して創刊されました。

今、動いている“地元”横浜を活写する大人メディア

2009 年の横浜開港 150 周年に向けて大きく動き出した横浜市。新たな開発やイベント、スポーツ、市内の旬スポット、地元流通のメンズファッショントレンドまで、横浜に住む大人が知っておきたい、そしてすぐ活用できる“今”の横浜情報を掲載していきます。

行政発の情報をとつきやすく、読みやすく

つかたくなりがちな行政発の情報。でも多くの場合、それは、暮らしに密着し、重要度の高い生活情報です。そこで『ハマジン』では、横浜市の発信したい情報を、読みやすさや興味の持ち方という読者視点から整理・編集。読み応えのある特集やコラムとして掲載しています。

厳しい広告審査基準

行政が発行するにふさわしい、市民が安心して活用できるメディアとして読者保護を徹底するというのも、大きなポイントです。『ハマジン』では、横浜市の掲載基準とフリーペーパー発行で 36 年の実績を持つサンケイリビング新聞社の広告掲載基準の双方の基準を満たす広告のみ掲載をします。

＜ 媒体概要 ＞

誌名： ハマジン

創刊2号発行日： 2007 年 5 月 30 日

発行サイクル： 季 刊（年間4回＝8 月末、11 月末、2008 年 2 月末予定）

版型： A4判 36 ページ

部数： 10 万部

配布場所： 横浜市内の駅・金融機関・行政サービスコーナーに設置の横浜市PRボックス、
横浜市内オフィス

発行社： サンケイリビング新聞社

協働編集： 横浜市、サンケイリビング新聞社

【発行に関する問い合わせ】

サンケイリビング新聞社 横浜事業本部 担当：岸野
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-78 キリン横浜ビル 6 階
TEL 045(661)1711 FAX 045(640)1080
<http://www.sankeiliving.co.jp>